

随時記者発表



その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.

項 目	平成30年度水産・林務関係北海道社会貢献賞及び北海道産業貢献賞表彰式について		
区 分 等	発 表	月 日 時 分	説明者
	資料配付	11月22日15時00分	
添 付 資 料	日高管内受賞者一覧		
発 表 要 旨	<p>平成30年度水産・林務関係北海道社会貢献賞及び北海道産業貢献賞の日高管内の受賞者について、別添のとおり決定され、表彰式が次のとおり開催されます。</p> <p>なお、全道の受賞者につきましては、同時に道本庁からプレスリリースされます。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日 時 平成30年12月18日（火） ① 北海道社会貢献賞 10:30～11:30 ② 北海道産業貢献賞 13:30～14:30</p> <p>2 場 所 ホテル札幌ガーデンパレス 2階 丹頂 （札幌市中央区北1条西6丁目）</p> <p>3 受 賞 者 別添のとおり</p>		
報道に当たっての お願い			
担 当	<p>[水産関係社会貢献賞・産業貢献賞] 日高振興局産業振興部水産課 漁政係長 佐藤 岳志 電話（内線）2611 （直通）0146-22-9321</p> <p>[林務関係社会貢献賞] 日高振興局森林室 管理課長兼主幹（木育企画） 伊藤 嘉彦 電話（直通）0146-22-2452</p> <p>[林務関係産業貢献賞] 日高振興局森林室 普及課長兼主幹（木育推進） 福島 淳 電話（直通）0146-22-2453</p>		

平成30年度 北海道社会貢献賞

<水産業関係功労者>

・海難救助功労者

対 象	表 彰 の 基 準	本年度受賞者 (全道)
模範救難所員	所員として救助及び訓練活動に奨励し、技能が特に優秀で他の模範と認められるもの。	1名
永年勤続救難所員	所員として30年以上勤続し、その功績が他の模範と認められるもの。	31名

・漁船事故防止功労者

対 象	表 彰 の 基 準	本年度受賞者 (全道)
漁船保険組合、漁業協同組合等の役職員	漁船保険組合、漁業協同組合の役職員で、おおむね10年以上その職にあり漁船の事故防止に尽力し、功績が顕著なもの。	1名

<林業関係功労者>

・森を守り緑に親しむ功労者

対 象	表 彰 の 基 準	本年度受賞者 (全道)
個人、団体	長年にわたり緑化の推進・指導、森林の環境教育及び森林の保全などに尽力し、若しくは貢献しその功績が極めて顕著であり他の模範となるもの。	1名 9団体

平成30年度 北海道産業貢献賞

<水産業関係功労者>

- ・水産団体等功労者

対 象	表 彰 の 基 準	本年度受賞者 (全道)
優良水産業協同組合等功労者 (役員及び職員)	組合等の役員として忠実に義務を履行し、組合等の本来の事業運営の向上に貢献し、その功績がきわめて顕著なもの。 組合等の業務に精通し、組合等の運営に貢献している職員。	13名
水産業等功労者	(個人) 長年にわたり水産業事業に尽力し、若しくは貢献し、又は永年職務に精進され、その功績が極めて顕著であって、かつ他の模範となるもの。	1名
	(団体) 長年にわたり漁業と遊漁とのルールづくりや海面利用調整のため活動し、水産業の振興に寄与したものであって、その功績が顕著な遊漁関係団体。	—
海区漁業調整委員等功労者	長年にわたり海区漁業調整委員会、内水面漁場管理委員会又は海面利用協議会の委員として在職し、その功績が顕著なもの。	一名

<林業関係功労者>

- ・森林づくり功労者

対 象	表 彰 の 基 準	本年度受賞者 (全道)
個人、団体	長年にわたり林業及び木材産業関係事業に尽力し、若しくは貢献し又は永年職務に精進され、その功績が極めて顕著であり、他の模範となるもの。 新技術等の開発、利用の促進及び販路拡大などにより林業・木材産業の振興に多大な貢献のあったもの。	11名

平成30年度北海道産業貢献賞 ～ 水産林務部関係

区分	表彰の対象	市(区)町村名	ふりがな 氏名又は団体	事 績 の 概 要	備考
水産業関係 功労者	水産団体等功 労者 (優良水産業 協同組合等 功労者)	新ひだか町	なかむら たかし 中村 敬	<p>昭和54年に静内漁業協同組合に奉職し、総務・指導部長を経て、平成17年に門別町、新冠、静内、三石の四単協合併により発足したひだか漁業協同組合では、総務・指導部長、参事兼総務・指導部長を歴任し、平成23年には豊富な経験と卓越した指導力が認められ専務理事に就任し、長年にわたり漁協経営基盤の強化や効率的な事業運営に尽力されました。</p> <p>特に、平成元年から、それまで天然資源に依存し減少傾向にあったエゾバフンウニの資源増大を図るため、関係機関と連携しながら人工種苗放流の導入に尽力し、今日の「日高の春ウニ」の基礎を築いたほか、平成26年には沙流川シヤマ孵化センターの建設に当たって、関係機関と積極的に折衝を行い、その実現に大きく貢献されました。</p> <p>また、近年生産が増加傾向にあるブリを「春立ブリ」、「三石ブリ」の銘柄で消費拡大に取り組み、ひだかブランドの知名度向上に尽力されました。</p> <p>さらには、日高海区漁業調整委員会委員、全道漁協専務参事会理事等の要職を務め、日高管内はもとより本道水産業の振興・発展に大きく寄与されています。</p> <p>これらの功績は高く評価されるものであり、他の模範とするところであります。</p>	58歳
林業関係功 労者	森林づくり功 労者	日高町	はるき まさと 春木 正友	<p>平成8年に建設会社を退職し、和牛10頭の飼育と稲作、また、父から相続した50haの森林をもとに林業経営を始めました。以来、林業・畜産・稲作の三本柱がそれぞれ補完し合った安定的な農林複合経営を目標に活動し、現在では108haの森林を所有しています。</p> <p>父の熱心な山仕事から学んだ林業技術と知識を活かし、資源の循環と有効利用を目的に間伐を主体とした手入れを行い、伐り出された材を自家用製材機で加工して畜舎に活用するなど、地域の農林複合経営者の模範となっています。</p> <p>平成20年には「北海道指導林家」として認定され、日高振興局森林室平取事務所と連携を図りながら、地域の森林所有者や林業後継者を対象に、造林や間伐等の推進、森林施業技術の普及のほか、日高管内林業グループ連絡協議会の研修会においては、所有林を研修の場として提供するなど精力的に活動しています。</p> <p>また、農畜産経営と併せた持続的かつ健全な林業経営が高く評価され「平成21年度全国林業経営推奨行事」において「大日本山林会会長賞」を受賞されるなど、本道の林業発展に貢献された功績は誠に顕著であります。</p>	65歳